



稚内市立増幌小中学校 学校だより

責任者：校長 畠山 博次

おむすびころりん1億個

校長 畠山 博次

3学期がスタートし、子どもたちが厳しい寒さに負けずに元気よく毎日を過ごしていることをうれしく思います。

さて、公益社団法人ACジャパンのテレビコマーシャル「おむすびころりん1億個」をご存じの方もおられると思います。このコマーシャルでは、日本全体の食品廃棄量が、おむすびを毎日私たちが1人1個ずつ捨てている量に相当すると伝えていきます。

「食品ロス」という言葉があります。これはまだ食べられる食品なのに捨てられてしまうことを表しています。農林水産省及び環境省の令和2年度推計によれば、日本の食品ロスの量は年間522万トンで、国民1人あたり1日約113グラム、年間約41キログラムだそうです。コマーシャルの内容にほぼ一致します。

では、なぜこのような食品ロスが起きるのでしょうか。

食品ロスには「事業系食品ロス」（事業活動を伴って発生する食品ロス）と「家庭系食品ロス」（各家庭から発生する食品ロス）の2つがあります。事業系食品ロスは、食品販売店での売れ残り、飲食店での食べ残しなどによるものです。家庭系食品ロスは、必要以上の食品購入や料理の作り過ぎによる廃棄などが原因です。

こうした状況を踏まえると、食品製造工場、食品販売店、飲食店などが食品ロスを減らす努力や工夫をするとともに、私たち消費者も食品ロスを減らすためにできることを考え、実行する必要があります。もちろん、子どもたちを含めてです。

例えば次のようなことができるのではないのでしょうか。

- ① 賞味期限が切れそうなものから買って、できるだけ早く調理する。
- ② 飲食店では食べ切れる分量を注文し、食べ残しをしないようにする。

他にできることはないかをぜひご家庭でも話し合ってみてください。

日本は食料の多くを外国から輸入しています。また、日本国内には十分な食事がとれずに困っている家庭もあります。食品ロスは実にもったいないことです。

さらに、食品ロスはごみ処分として多くのエネルギーを使ったり、環境に悪い影響を与えたりします。

（裏面につづく）

したがって、食品ロスを減らす行動は食料資源の有効利用や環境保全につながり、ひいては私たちの生活を守ることになるわけです。食品ロスを減らす行動の大切さをぜひ子どもたちにも理解してもらい、実践への意欲を高めてほしいと思います。

学校では、これからも給食の残量を減らすことに努めます。小学校、中学校ともに配膳やお代わりの方法を工夫し、学校から出る生ごみをゼロに近づけ、調理員さんの笑顔を増やしたいと思います。

後期学校評価の結果

～ご協力ありがとうございました!～

12月に、児童生徒・保護者・地域・教職員を対象に学校評価アンケートを行いました。お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。すべての項目で学校が目標としております「3.0」を超える結果となりました。

<子ども達・保護者・教職員 のいずれも評価が高かった項目（3.7以上）>

○先生方は子ども達のために、いつも工夫しながら授業を進めている。（保）

○子どもたちは宿題や家庭学習に取り組むことで、家庭での学習習慣を身に付けることができている。（保）

○先生方はあなたの気持ちや考えをきちんと聞いてくれている。（子） などでした。

これからも、小規模校のよさを最大限に活用し、気配り、目配りをしながら丁寧な指導を心がけていきます。

また地域の方から、『学校だよりをもう少し早くほしい』といったご意見がありました。教員数の減少により、校区内全戸配達が難しくなりましたので、今年度からまとめて郵送しております。HPには毎月末に学校だよりを掲載しております。また学校に来ていただければその場で学校だよりをお渡しできます。今後とも学校へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



宗谷管内児童生徒美術展 審査結果

<稚内市教頭会長賞>

小3年 題「20年後のぼく」

<稚内南ロータリークラブ賞>

小4年 題「いきいき」

<準特選> 題「自画像」

<入選> 題「自画像」

01/21(土)～1/31(火) 9:00～17:00

(31日は15:30で終了です)

稚内総合文化センターにて展示

※23(月)30(月)は休館日です。

日	曜日	学校行事等
2	木	中全：文協テスト
3	金	小：スキー授業②
6	月	ALT
7	火	委員会活動
8	水	合同役員会 小：スキー授業③
9	木	授業参観・懇談会
16	木	職員会議
17	金	全校朝会
21	火	ALT
23	木	天皇誕生日（祝日）
27	月	中：学習会